

**「北海道胆振東部地震」被害に対する支援金に関する
北海道生協連からの呼びかけ**

9月6日未明に、北海道胆振東部を震源とした震度7の地震が発生しました。

北海道での震度7は、震度階級が改定された1996年以来初めてで、国内で震度7を観測したのは、2016年の熊本地震以来となりました。

津波の発生はなかったものの、震源地の厚真（あつま）町では大規模な土砂崩れが発生し家屋の崩壊・生き埋めよる死者が多数出ています。被害は全道に及び地震の影響で北海道の全世帯295万戸が停電し、地域によっては断水も発生、停電はほとんど解消されましたが、電力供給は綱渡りの状況が続いています。

停電によって発生した被害は深刻で、病院施設での人命に関わる影響をはじめ、JR北海道の全線停止・新千歳空港の閉鎖・札幌地下鉄と市電の停止など市民生活に甚大な影響を与えました。

長期停電による影響は、牛乳の生産中止と廃棄、水産物等の冷凍加工工場の停止、小売業の冷凍商品の廃棄などへ広がり、観光産業は大きな損失を被り、今後の影響も懸念されています。

北海道生協連の呼びかけを受けて、早速コープさっぽろでは、宅配・店舗での支援募金を組合員に呼びかけることを決めました。

是非、ご協力をお願いいたします。

北海道生活協同組合連合会
会長理事 麻田 信二